

# Canon MJ 通信

～第55期中間報告書～

2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日



過去最高益の更新、  
持続的な成長を目指して、  
取り組みを『加速』させます。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

代表取締役社長 足立 正親

株主の皆さまには、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当中間期における当社グループの業績は、仕入れ価格や物流費等の高騰、様々な商品の供給制約が継続する中において、ITソリューションを中心とした提案力の強化によって収益性を高めたことや、コストを適切にコントロールした結果、売上高は前年同期比147億円増収の2,899億円、営業利益は前年同期比72億円増益の278億円となりました。また、営業利益、経常利益、純利益においては、中間期の過去最高の記録を更新することができました。

なお、当年度の中間配当金は1株あたり40円(前年同期比10円増額)とし、年間配当金予定を1株あたり80円(前期比5円増額)とさせていただきます。今後の配当金額につきましては、引き続き長期・安定的な増額を目指してまいります。

足元の経営環境は、企業のIT投資拡大の動きを背景に、ITサービス業界全般に堅調ではありますが、今後、資源価格の高騰がより一層厳しさを増すことも想定され、気を緩めることができない局面が続きます。

当社グループは企業理念「共生」を企業活動の根幹に据え、今後も当社グループの強みを生かした高付加価値なソリューションを提供することで、お客さまとともに発展し、サステナブルな社会の実現に貢献する企業グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

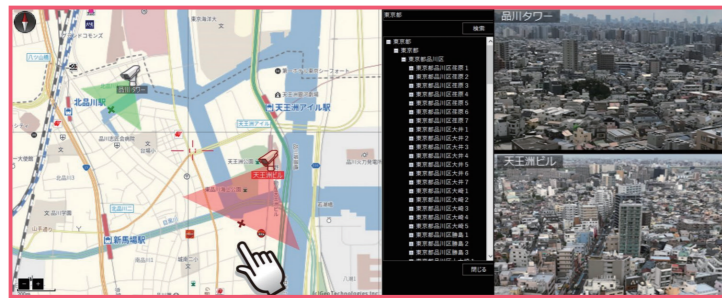
2022.4

TOPICS  
01 災害時の情報収集・意思決定の迅速化に貢献し、  
国や地方自治体の防災を支援

多くの自治体では災害発生前後の状況を遠隔で確認するために、地図ソフトウェアやカメラシステムなどを導入し災害発生時の意思決定に活用しています。これらのシステムで利用されるカメラは、映像が広範囲なためどの方面を見ているのか特定が困難な場合が多く、また操作が複雑なことから目標地点の映像表示に時間を要するなど、正確な情報収集を迅速に行うことが課題となっています。

このような課題を解決すべく、当社グループは地図をクリックするだけで目標地点の映像表示が可能で、視覚的にカメラ映像範囲の把握ができる「カメラ地図連携アプリ」の提供を開始しました。本アプリは、「地図上の任意の地点を選択すると、カメラの設置場所から選択地点までの距離や高さを計算して、最適なカメラ映像を表示」とともに、「カメラの現在の撮影方角を地図上に表示し、ズームに応じて撮影範囲の形を自動的に調節し表示」することができます。また、インターネットに接続しないオフライン環境においてもシステムを導入することができます。

当社グループは、本アプリを通じて、災害時の正確な情報収集と意思決定の迅速化に貢献するとともにセキュアな環境を構築することで、国や地方自治体の防災活動を支援していきます。



- 特長1 | 地図をクリックするだけで  
目標地点の映像を表示
- 特長2 | カメラの撮影方角を地図上に表示
- 特長3 | 地図はオフラインで利用が可能

2022.4

TOPICS  
02 ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の  
構成銘柄に選定

当社は、ESG指数の一つである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

当社は既に「FTSE Blossom Japan Index」「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に選定されており、今回の選定により、日本の公的年金積立金を管理・運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用している5つの国内株式ESG指数のうち、4つのESG指数に選定されたこととなります。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2022.5

TOPICS  
03 証券会社向け“目論見書オンデマンド印刷システム”により  
投資信託業務のDXを支援

政府におけるデジタル化社会の実現に向けた施策が進む中、証券業界でもお客さまの利便性向上と業務効率化、地球環境の保全などSDGsの達成に向けペーパーレス化や電子交付への取り組みが進んでいます。現在は紙での交付が義務づけられている投資信託の関連書類も今後は原則として電子交付の検討が進められる一方で、電子交付に移行してもお客さまの要望により紙での提供、交付が必要になります。

このほど、当社と株式会社野村総合研究所(NRI)は共同で、NRIの投信文書プラットフォームサービス「FundWeb Library」からPCレスで簡単に複合機の操作パネル上で必要なデータを参照、検索し印刷が可能な証券会社向け“目論見書オンデマンド印刷システム”を構築しました。

本ソリューションは、多種多様な目論見書データを一元管理し、目論見書が必要な時に必要部数をお客さまの場で出力でき、常に最新の目論見書をお客さまに提供することができます。また、証券会社向けユーザーインターフェースの採用により、効率的なオンデマンド印刷が可能になりました。これにより、旧版配布のコンプライアンス違反リスクを防止するとともに、倉庫から店舗への配送が不要となり、保管・配送コストの削減を実現します。

当社は、今後も、デジタルドキュメントサービスの核となる帳票ソリューションやデジタルワークフローなどを活用し、金融機関のデジタルトランスフォーメーションの推進と働き方改革を支援することで、金融業界向けソリューション事業の拡大を目指していきます。



2022.6

TOPICS  
04 「EOS R システム」のAPS-Cハイエンドモデル“EOS R7”を発売  
最高8.0段の手ブレ補正と高速連写・高性能AFを実現

RFマウントを採用する「EOS R システム」のAPS-Cハイエンドモデルカメラとして、新開発の有効画素数最大約3250万画素APS-CサイズCMOSセンサー搭載のミラーレスカメラ“EOS R7”を2022年6月23日に発売しました。

“EOS R7”はEOS Rシリーズ初のAPS-CサイズCMOSセンサーを搭載し、高速連写と高画質を両立したミラーレスカメラです。メカシャッター/電子先幕による撮影時は、EOS Rシリーズ最速となるAF/AE追従で最高約15コマ/秒、電子シャッターによる撮影時は、AF/AE追従で最高約30コマ/秒の高速連写が可能です。さらに、「EOS R3」のAF被写体検出技術を継承し、人物、動物(犬・猫・鳥)、乗り物(モータースポーツにおける車・バイク)の動きが速いシーンにおいて快適な撮影が可能です。高いAF性能と被写体検出機能により、高速、高性能を求めるハイアマチュアユーザーのニーズに応えます。



# Financial Highlights 業績ハイライト

各セグメントの売上高、営業利益をそれぞれ合計した数字は、「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の売上高、営業利益と異なります。また、円グラフの構成比率は売上高構成比率を示しており、各セグメント別売上高の単純合計額をもとに算出しています。  
※「その他」は、コールセンターおよびBPOサービス事業ならびにセグメント間取引消去で構成されています。

(表示単位未満四捨五入)



## プロフェッショナル

売上高 …… **239億円** | 前年同期比 **47.9%**

営業利益 …… **41億円** | 前年同期比 **166.3%**

各専門領域のお客さま向けに、ソリューションを提供しています。

- プロダクションプリンティング
- 産業機器
- ヘルスケア



## エリア

売上高 …… **1,128億円** | 前年同期比 **2.9%**

営業利益 …… **85億円** | 前年同期比 **16.9%**

ビジネスパートナー、システムパートナー、直販からなる多様なチャネルを最大限に活かして、日本全国の中小企業のお客さまにキヤノン製品やITソリューションを提供しています。



## コンシューマ

売上高 …… **628億円** | 前年同期比 **2.5%**

営業利益 …… **66億円** | 前年同期比 **0.7%**

キヤノンの祖業であるカメラをはじめ、インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のITプロダクトを法人・個人のお客さまに販売しています。

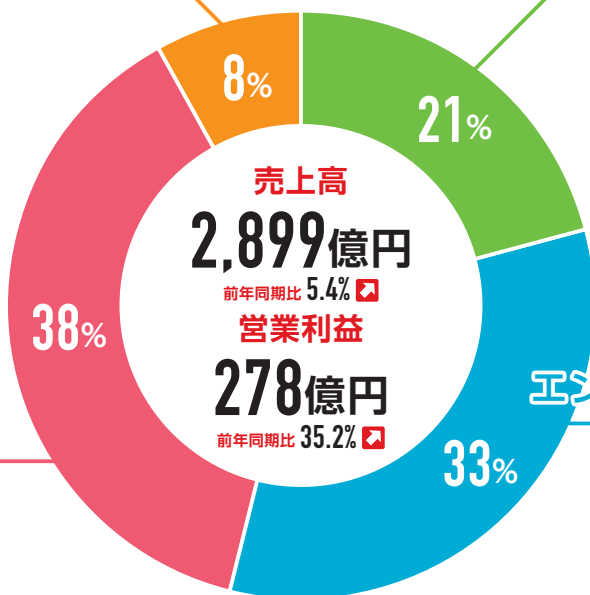


## エンタープライズ

売上高 …… **1,005億円** | 前年同期比 **9.4%**

営業利益 …… **95億円** | 前年同期比 **52.1%**

大手企業、準大手・中堅企業向けに、業種ごとに異なる経営課題解決に寄与するキヤノン製品やITソリューションを提供しています。



### その他\*

売上高 …… **△101億円**

営業利益 …… **△9億円**

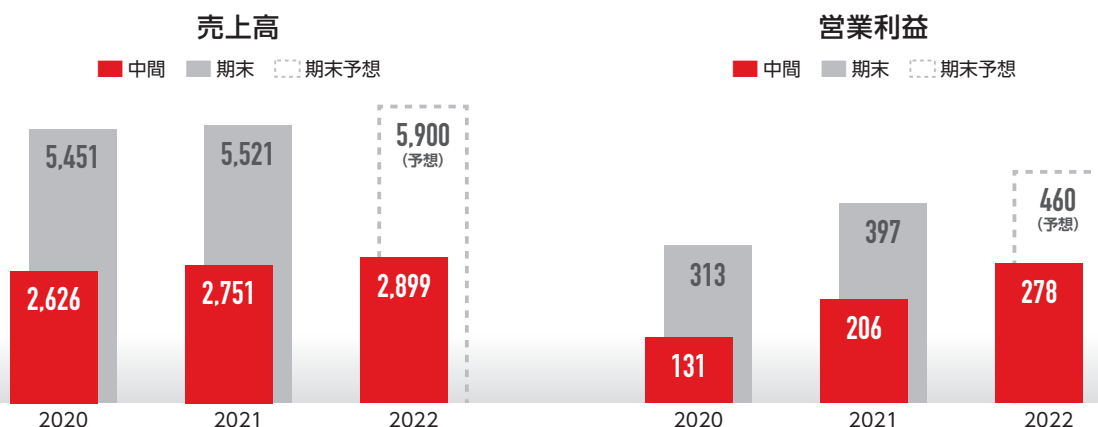


当中間期における業績の詳細をご覧ください。



## 売上高・営業利益推移

(単位:億円、単位未満四捨五入)



### IRメールマガジンのご案内

IR情報をはじめ各種IRイベントや無料セミナー等の様々な情報をお送りしています。  
「投資家向け情報」のトップページよりご登録ください。